

上尾市上平地区複合施設建設の検討の経緯について

■新図書館建設検討～上平地区複合施設建設検討までの経緯

- 「第 5 次上尾市総合計画前期基本計画（計画期間：平成 23～27 年度）」にて、次のように課題をとらえており、平成 27 年度までに検討を進めることを掲げていた。
 - ☞ ニーズの多様化、高度化に伴い、図書館は全ての世代へさまざまな情報を提供できる知の拠点施設として整備されることが求められている。そこで、誰もが集え、図書館サービス網の中核機能を備えた『(仮称)新中央図書館（第二図書館）』整備に向け、早急に検討を進める必要があります。（「第 5 次上尾市総合計画」P90 より抜粋）
 - ☞ 図書館資料に対するニーズは、今後も多様化することが予測されます。蔵書の充実とともに、暮らしに役立つ情報サービスや対象者別サービスを充実し、団体との連携、図書館サービス網の充実を図る必要があります。（「第 5 次上尾市総合計画」P92 より抜粋）
- 前市長のマニフェスト（第 2 期）にて、「手狭になった図書館を、利用しやすく 22 万都市に相応しい図書館に建て替えます。」と掲げていた。
- 総合計画やマニフェストを踏まえ、平成 25 年度の政策会議で新図書館の建設について審議し、3 つの候補地から上平地区の候補地に絞り込んだ。
- 新図書館建設にあたっては、機能移転だけでなく、青少年センター等の複数施設の移転更新であり、市民が集える公共スペースの不足を機能補完することで、「上尾市公共施設等総合管理計画」及び「上尾市個別施設管理基本計画」に基づくマネジメントの考え方に合致している。
- その後、平成 29 年 10 月の前市長及び前議長が逮捕され、辞職したことにより、新図書館複合施設整備事業は一時中止となった。
- 平成 29 年 12 月に現市長に交代したのち、平成 30 年 6 月に、一時中止となっていた新図書館複合施設整備事業について、市財政に与える影響を鑑み、次の方針に沿って見直しする判断を表明した。
 - ☞ 工事再開でもなく、中止でもなく、現在の計画を見直しする。
 - ☞ 事業予定地であった上平の土地は、地域の特性、そして公共施設マネジメントを踏まえた上で、図書館分館機能を含む複合施設として、市民の皆さまに喜んでいただけるような施設を検討する。
 - ☞ 図書館の本館の位置は、当面現在のままとする。
- 平成 31 年度より上平地区複合施設の検討を本格始動するために、平成 31 年 3 月「上尾市上平地区複合施設検討委員会条例」を制定した。当委員会では、個別施設管理基本計画等委員会で承認をした 13 施設を候補として、検討を進めていくこととする。